

登園の目安

	登園を控えるのが望ましい場合	登園が可能な場合
発熱	<ul style="list-style-type: none"> ●活気、機嫌が悪く、食欲がない ●24時間以内に38℃以上の熱が出ていた ●24時間以内に解熱剤を使った 1歳以下の場合： <ul style="list-style-type: none"> ●平熱より1℃以上高い(38℃以上ある) 熱性けいれんの既往： <ul style="list-style-type: none"> ●発熱後24時間 	<ul style="list-style-type: none"> ○前日に38℃以上の熱が出ていない ○朝は37.5℃以下で活気があり機嫌もよい ○咳や鼻水の症状が悪化していない ○発熱に伴う発疹は出ていない ○食事や水分がとれている ○排尿回数が減っていない
咳	<ul style="list-style-type: none"> ●咳のため夜間起きる ●連続して咳き込む ●呼吸をする時ゼイゼイという音を発する ●呼吸がつからそう ●少し動いただけで咳がでる ●機嫌が悪く、食欲がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○前日に38℃以上の熱が出ていない ○連続した咳をしない ○機嫌がよく、食事もとれている
下痢	<ul style="list-style-type: none"> ●24時間以内に2回以上水様便あり ●食事や水分摂取毎に下痢になる ●朝に排尿がない ●体温がいつもより高い ●機嫌が悪く、元気がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○24時間以内に2回以上水様便なし ○食事や水分摂取をしても下痢にならない ○排尿回数がいつも通り ○発熱を伴わない
嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> ●24時間以内に2回以上の嘔吐あり ●食欲や活気がない ●水分がとれない ●嘔気があり、いつもより体温が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ○24時間以内に2回以上の嘔吐がない ○食事や水分摂取をしても吐かない ○機嫌がよく、顔色も良い
発疹	<ul style="list-style-type: none"> ●発熱に伴って発疹がみられる ●口内炎で食事がとれない ●とびひ：顔などで患部を覆えない、患部を搔いてしまう、じくじくして他児に感染の恐れがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関を受診の結果、感染の恐れがなく、全身状態が良いと診断された

※登園の目安としていただき、迷われたときはお電話ください。

※病後児保育をご希望の方は看護師へご相談ください。

保護者連絡、受診の目安

	保護者への連絡が望ましい場合	至急受診が必要と考えられる場合
発熱	<ul style="list-style-type: none"> ●38℃以上の発熱がある 	<ul style="list-style-type: none"> ●顔色が悪く、苦しそうなとき ●小鼻がピクピクして呼吸が速いとき ●意識がはっきりせず、ぐったりしているとき ●頻繁な下痢や嘔吐があるとき ●けいれんが5分以上治まらないとき ●3か月未満：38℃以上の熱があるとき
咳	<ul style="list-style-type: none"> ●38℃以上の熱がある ●咳があり眠れない ●少し動いただけでも咳がでる ●咳とともに嘔吐が数回ある 	<ul style="list-style-type: none"> ●呼吸が苦しそうなとき ●顔色が悪く、ぐったりしているとき ●水分摂取ができないとき
下痢	<ul style="list-style-type: none"> ●食事や水分を摂ると、刺激で下痢をする ●腹痛を伴う下痢がある ●水様便が2回以上みられる 	<ul style="list-style-type: none"> ●元気がなく、ぐったりしている ●機嫌が悪く、食欲がない、発熱や嘔吐、腹痛を伴うとき
嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> ●咳を伴わない嘔吐がある ●元気がなく、機嫌、顔色が悪い ●嘔気が止まらない ●お腹を痛がる ●下痢を伴う 	<ul style="list-style-type: none"> ●嘔吐の回数が多く、顔色が悪いとき ●元気がなく、ぐったりしているとき ●血液やコーヒーかすのような物を吐いたとき ●頻回の下痢や血液の混ざった便が出たとき ●脱水症状と思われるとき <ul style="list-style-type: none"> ・尿が半日以上出ていない ・落ちくぼんでみえる目 ・唇や舌が乾いている ・張りのない皮膚や陰囊
発疹	<p>●食物アレルギーによりアナフィラキシー 食物摂取後に発疹が出現し、その後消化器や呼吸器に症状が出てきた場合は、至急受診が必要。</p> <p>保護者に連絡し受診が必要：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発熱して数日後に熱がやや下がるが、24時間以内に再び発熱し、赤い発疹が全身に出てきた。熱は1週間くらい続く。⇒<u>麻疹</u> ●微熱程度の熱が出た後に、手のひら、足の裏、口の中に水疱がでる。膝やお尻に出ることもある。 ⇒<u>手足口病</u> ●38℃以上の熱が3~4日続き下がった後、全身に赤い発疹が出てきた。⇒<u>突発性発疹</u> ●発熱と同時に発疹が出てきた。⇒<u>風疹、溶連菌感染症</u> ●微熱と両頬にりんごのような紅斑が出てきた。⇒<u>伝染性紅斑</u> ●水疱状の発疹がある。発熱やかゆみは個人差がある。⇒<u>水痘</u> 	

